

特別展

昆虫 MANIAC

Special Exhibition INSECTS

クセ すご昆虫たちの競演!

マニアック MANIACって?

いろんなムシがいるというのは知っているよね。
誰もが聞いたことがあるムシにしる、普通に生活しているだけでは
ほとんど見ることがないようなムシにしる、
じつは本や図鑑に書いてあることだけがすべてではないんだ。
視点を変えて、一歩深く知ろうとすれば、その先にまだ見ぬ世界が広がっている。
そんな、「みんなが知っている」のほんの少し
先に進んだところに広がる世界が「MANIAC」だ!

マニアック! 昆虫シート

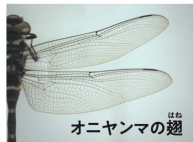
みんな、昆虫は好きかな?
得意じゃない人もいるかも知れど、
「え? そうなの?!」な
マニアックな昆虫のすごさを知れば、
もっともっと面白くなるよ!

マニアックの扉

いろいろな昆虫の
マニアックなところを紹介するよ!

トンボ

- トンボの翅の網目模様をかたちづくる“線”は「翅脈」というが、なんと一本一本に名前がついている!
- 翅脈を調べるだけである程度トンボの種類がわかるそう!



オニヤンマの翅

チョウ

- チョウは昼間活動し、翅のもようが派手。
- ガは夜間活動し、翅のもようは地味。
と思うかもしれないけれど、どちらも例外があり、明確な区別は、実はない。
- 日本では、チョウとガは6500種以上が知られているが、チョウは250種程度、残りはすべてガ。



シャクガモドキの一種

分類:チョウ目シャクガモドキ科
主な生息地:南アメリカ

冬に成虫が出るガ

- 冬に成虫が出る「フユシャクガ」というガがいる。
- フユシャクガは、冬のシャクガ(シャクトリムシのガ)の意味。
- フユシャクガのメスの翅は退化して飛べない。



冬に出る!

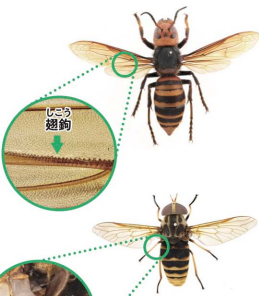


フチグロトゲエダシャク
(上:オス、下:メス)

分類:チョウ目シャクガ科
主な生息地:日本・アジア東部

ハチとハエ

- ハチとハエの違いは翅の枚数。ハチは4枚、ハエは見かけ上2枚。
- ハエの後ろ翅は「平均棍」になっていて、羽ばたきには使えないが、ないとよく飛べない。



ハチとハエの体の違い。
上:オオスズメバチ(ハチ目)
下:アカウシアブ(ハエ目)。



カブトムシ

- カブトムシと言えばオスはりっぱなツノ、メスは小さなツノ。クワガタムシもそうだが、このようにオスとメスで大きな違いがある昆虫は多い。
- ところがごくまれに、オスとメスの特徴を両方もった個体が出ることがあるのだ!



おおきいツノがなくメスのようだが、よく見ると小さいツノはある

頭部がメスで体はオス

たしかめよう

名古屋市科学館の特別展「昆虫 MANIAC」では、マニアックな昆虫のひみつをたくさん紹介しているよ。
是非たしかめてみてね。

標本写真/国立科学博物館

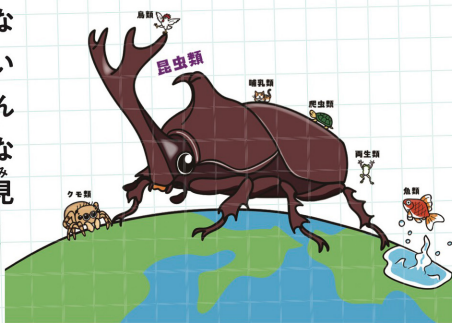


昆虫クイズ

- Q1 昆虫の脚の数は何本でしょう?
A 4本 B 6本 C 8本
- Q2 昆虫の翅が生えているのは次のうちどれ?
A 頭部 B 胸部 C 腹部
- Q3 昆虫の体にはないものは次のうちどれ?
A 心臓 B 脳 C 背骨(脊椎)

ものすごい数の種がいるよ

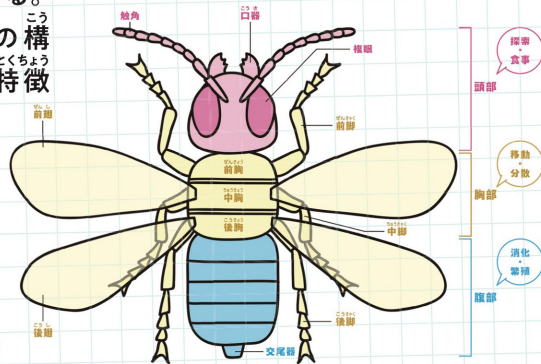
昆虫は今わかっていてだけで100万種以上! 他の哺乳類や虫類など「脊椎動物」を全部ひっくるめても7万5千種程度なので、なんと14倍もの差! だから、実にいろんな虫がいるんだね。しかも、まだ知られていない昆虫がたくさんいて、なんと500万種もあるかもしれないんだ! いったいどんな昆虫がこれから見つかるんだろうね!



大きさはその種数に比例している。

6本脚だよ

昆虫の成虫は6本脚というのはよく知られているね。8本のクモや14本のダンゴムシとは違って、必ず6本だよ。また、成虫のからだは、頭部・胸部・腹部に分かれているし、6本の脚は必ず胸部から出ているし、翅のある昆虫の翅は胸部の背側から出ている。こういう体の構造も昆虫の特徴だね。

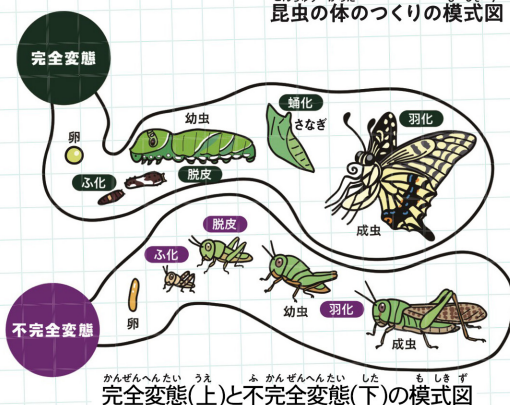


昆虫の体のつくりの模式図

変態するよ!

多くの昆虫は幼虫から成虫へと成長する過程で、体のつくりや生活様式が大きく変わるよ。成虫になる前に「さなぎ」になるものを完全変態、ならないものを「不完全変態」という。たとえばチョウはイモムシがさなぎになってから成虫のチョウになるね。だから完全変態。その一方で、たとえばトンボの幼虫のヤゴは羽化して成虫になるけどさなぎにはならないね。だから「不完全変態」。

完全変態も不完全変態も、昆虫の特徴の一つといえる。覚えておいてね!



イラスト/ないとうあきこ
©国立科学博物館

(岐阜) 岐阜 ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

特別展「昆虫 MANIAC」では、マニアックな昆虫や他の「ムシ」たちのひみつを紹介!ぜひ自分の目で見てたしかめてね。

会期 2025年11月8日(土)～
2026年 2月1日(日)
開場時間:9:30～17:00(入場は閉館30分前まで)

休館日 毎週月曜日、毎月第3金曜日、
12月2日(火)、12月29日(月)～1月3日(土)、1月13日(火)
※11月24日(月・休)、11月25日(火)、1月12日(月・祝)は開館

問い合わせ 名古屋市科学館 TEL 052-201-4486

入場料 一般 1,800円(1,600円)/高大生 1,000円(800円)/小中生 500円(300円)

公式サイト <https://www.konchumaniac.jp/>

主催:名古屋市科学館 読売新聞社 東海テレビ放送 特別協力:国立科学博物館



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2丁目17-1 芸術と科学の杜・白川公園内
TEL:052-201-4486



地下鉄東山線・鶴舞線 「伏見」駅下車、4-5番出口 から南へ徒歩5分

市バス 「広小路伏見」下車、南へ徒歩5分 名鉄バス 「白川公園前」下車、北へ徒歩5分

理工館地下2階
イベントホール

※陸生の節足動物(クモ・サソリ・カデなど)を含みます。



公式サイト